

公益社団法人劇場演出空間技術協会

令和2年度事業報告

令和2年度の事業計画に基づき実施した事業は次の通りである。

1. 会議

1) 総会

令和2年度通常総会（令和2年5月27日（水）14:00～16:22）

令和2年度通常総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面総会として、公益社団法人劇場演出空間技術協会事務局会議室において、限られた執行理事と理事監事選挙を管理できる最小限の選挙管理委員の出席により開催した。各部会からの報告はWEB会議方式にて出席の部会長により報告した。

(1) 審議事項：

第1号議案 令和元年度事業報告承認の件

第1号議案令和元年度事業報告承認の件について中川事務局長、業務担当理事及び各部会長から活動内容の報告があった。

議長が本件についての意見、質問がないことを確認し挙手により賛否を諮った結果、議長を除き賛成48名、反対0名で原案通り承認された。

第2号議案 令和元年度収支決算報告承認の件

第2号議案令和元年度収支決算報告承認の件について財務担当の荻野副会長より説明があり、尾澤監事、間瀬監事による監査を受け、監査報告書を受領しているとの報告があった。

議長が本件についての意見、質問がないことを確認し挙手により賛否を諮った結果、議長を除き賛成48名、反対0名で原案通り承認された。

第3号議案 常勤役員の報酬年額の決定の件

第3号議案 常勤役員の報酬年額の決定の件について総務担当の青野理事から役員の報酬及び費用に関する規程の中で、(報酬の支給)第3条に、本会は、常勤役員の職務執行の対価として報酬を支給することができる。2 非常勤役員には報酬は支払わない。3 役員報酬は年額で定め、12か月に分割して支払う。と規定されている。また、(報酬等の額の決定)第4条に本会の常勤役員の報酬年額は、理事会決議を経て、社員総会の承認を得る。とあるが、現在は常勤役員への報酬は支払われていない現状。

今年度の予算を検討する中で、会長、副会長、総務担当理事で協議した結果、常勤役員の報酬年額を120万円とする案を第49回理事会に諮り、承認されたとの報告があった。

議長が本件についての意見、質問がないことを確認し挙手により、賛否を諮った結果、議長を除き賛成48名、反対0名で原案通り承認された。

第4号議案 正会員 A 荻野 均 三精テクノロジーズ株式会社 理事就任承認の件

第5号議案 正会員 A 青野 時彦 株式会社東京舞台照明 理事就任承認の件

第6号議案 正会員 A 宮丸 正人 パナソニック株式会社ライフソリューションズ社

	理事就任承認の件		
第7号議案	正会員 A	崎山 征雄	不二装備工業株式会社 理事就任承認の件
第8号議案	正会員 A	永井 烈	丸茂電機株式会社 理事就任承認の件
第9号議案	正会員 A	森 健輔	森平舞台機構株式会社 理事就任承認の件
第10号議案	正会員 A	西村 岩夫	ヤマハサウンドシステム株式会社 理事就任承認の件
第11号議案	正会員 B	伊東 正示	株式会社シアターワークショップ 理事就任承認の件
第12号議案	正会員 C	伊東 邦比古	株式会社ステージオフィス 理事就任承認の件
第13号議案	正会員 C	小川 幹雄	舞台監督(一般社団法人日本舞台監督協会) 理事就任承認の件
第14号議案	正会員 C	中川 堅司	音響(エヌ・ケー・サウンドラボ) 理事就任承認の件
第15号議案	正会員 C	西 豊彦	株式会社ラムサ 理事就任承認の件
第16号議案	正会員 C	長谷川 祥久	劇場建築設計(有限会社香山壽夫建築研究所) 理事就任承認の件
第17号議案	非会員	尾澤 輝行	税理士法人尾澤会計事務所 監事就任承認の件
第18号議案	正会員 C	間瀬 勝一	公益財団法人多摩市文化振興財団 事務局長 監事就任承認の件

議長より選挙管理委員会池田健委員長、桂川潤次郎、畑中祐介、南知之、青池佳子委員の紹介があり、池田健選挙管理委員長より理事、監事の立候補者の報告、および選挙方法の説明があった。議長を除く出席者8名の人数を確認して投票用紙が配布され、投票が行われた。会場投票と議決権行使の投票をあわせて、選挙管理委員の開票作業が行われた。

開票結果(別紙参照)により第4号議案から第18号議案が承認された。

第4号議案	正会員 A	荻野 均	47 票獲得にて当選
第5号議案	正会員 A	青野 時彦	47 票獲得にて当選
第6号議案	正会員 A	宮丸 正人	47 票獲得にて当選
第7号議案	正会員 A	崎山 征雄	43 票獲得にて当選
第8号議案	正会員 A	永井 烈	47 票獲得にて当選
第9号議案	正会員 A	森 健輔	47 票獲得にて当選
第10号議案	正会員 A	西村 岩夫	47 票獲得にて当選
第11号議案	正会員 B	伊東 正示	46 票獲得にて当選
第12号議案	正会員 C	伊東 邦比古	47 票獲得にて当選
第13号議案	正会員 C	小川 幹雄	47 票獲得にて当選
第14号議案	正会員 C	中川 堅司	47 票獲得にて当選
第15号議案	正会員 C	西 豊彦	47 票獲得にて当選
第16号議案	正会員 C	長谷川 祥久	46 票獲得にて当選
第17号議案	非会員	尾澤 輝行	47 票獲得にて当選
第18号議案	正会員 C	間瀬 勝一	47 票獲得にて当選

(2) 報告事項 :

第 1 号報告 令和 2 年度事業計画報告の件

議長の指示に従い添付の通常総会議案書に基づき、第 1 号報告 令和 2 年度事業計画書について中川事務局長、業務担当理事及び各部会長から報告があった。

質疑事項なし

第 2 号報告 令和 2 年度収支予算報告の件

議長の指示に従い添付の通常総会議案書に基づき、第 2 号報告 令和 2 年度収支予算について財務担当の荻野副会長から説明があった。

質疑事項なし

2) 理事会

令和 2 年度においては次の通り、定例理事会を 4 回、臨時理事会を 1 回開催した。

第 50 回定例理事会 (令和 2 年 4 月 24 日 (木) 14:00~15:45 於 JATET 会議室)

審議事項

第 1 号議案 令和元年度事業報告承認の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 2 号議案 令和元年度収支決算報告 承認の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 3 号議案 令和 2 年度通常総会議事次第承認の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 4 号議案 選挙管理委員会提出理事監事立候補リストの件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 5 号議案 令和 2 年度通常総会の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 6 号議案 神戸国際ステージサービス (株) 賛助会員 A 入会の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 7 号議案 正会員 C 近江哲朗氏 建築部会退部の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 8 号議案 JATET フォーラム 2020 セミナーテーマの件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 9 号議案 JATET 誌 87&88 (合併号) の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 10 号議案 ライティング・フェア 2021 への参画の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 11 号議案 第 26 回「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者の公募の件

審議の結果、今年度は推薦者なしと回答することが全員一致で可決承認された。

第 12 号議案 「世界劇場会議名古屋フォーラム 2020」の後援名義使用許可の件

審議の結果、名義の使用を許可することが全員一致で可決承認された。

第 51 回臨時理事会（令和 2 年 5 月 27 日（水）16:30～17:24 於 JATET 会議室）

審議事項

第 1 号議案 代表理事、副会長、専務理事の選任及び業務担当執行理事の決定の件
定款第 27 条（選任）

2 代表理事、副会長、専務理事及び専門の業務担当理事は理事会において選任すると定めており、この臨時理事会にて直ちに役職理事を決定する必要がある。

従来、役職理事については選挙の立候補届を受けた後の理事会で役職理事候補を推薦してから総会後の臨時理事会に諮るのが通例だが、今回はコロナ禍の中で推薦が遅れたため、前会長、副会長、専務理事の中で検討した。その結果、次の 5 名を役職理事として推薦した。

審議の結果、全員一致で可決承認された。

会長（代表理事）	森 健輔 氏	森平舞台機構株式会社/代表取締役
副会長（第 1）	青野 時彦 氏	株式会社東京舞台照明/常務取締役
副会長（第 2）	荻野 均 氏	三精テクノロジー株式会社/顧問
副会長（第 3）	永井 烈 氏	丸茂電機株式会社/取締役営業部長
専務理事	中川 堅司 氏	音響（エヌ・ケー・サウンドラボ）

なお専務理事は、常勤とする。

定款第 26 条（種類及び定数）

3 本会の会長を代表理事とし、副会長、専務理事に加え、専門の業務担当理事の 3 人を限度として、「一般社団・財団法人法」第 91 条第 1 項第 2 号に規定する業務執行理事とする。と定められている。

現状の理事立候補者の名簿を基に、前副会長及び事務局長と相談し、次の提案を行った。

理事の職務権限規程

第 7 条（会長）

(1) 代表理事として本会を代表し、その業務を統括し執行する。

と定められているため、

統括責任者 森 健輔（モリ ケンスケ）会長の担当とした。

第 8 条（副会長）

(1) 会長を補佐し、本会の業務を執行する。

と定められているため、事業担当、財務担当は下記のように選任した。

事業担当 青野 時彦（アオノ トキヒコ）副会長

前期は総務を担当していたが、今期より JATET フォーラムなどの事業を担当とする。

財務担当 荻野 均（オギノ ヒトシ）副会長

前期と同様、引き続き財務を担当とする。

総務担当 永井 烈（ナガイ レツ）副会長

今期からの理事就任だが、総務担当とする。

永井氏には前執行部からの推薦として、事務局から打診をした。

第 9 条（専務理事）

(1) 事務局を統括するとともに、会長及び副会長を補佐し、本会の業務を執行する。

と定められているので、

事務局統括 国内渉外担当 中川 堅司（ナカガワ ケンジ）専務理事
が前期から引き続き担当をする。

次に定款第 26 条の定めにより、専門の業務担当理事として、国際渉外担当、コンプライア
ンス担当、規程改訂作業部会担当の 3 名を選任した。

国際渉外担当 小川 幹雄 理事

国際渉外担当は、OISTAT 及び KTL との関係があり、OISTAT 副会長でもあることから、前期
に続き、国際交流をより活性化していきたい観点により人選を行った。

コンプライアンス担当 西 豊彦 理事

新たに理事に就任したが、コンプライアンス担当理事をお願いした。
前執行部からの推薦として、事務局から打診をした。

規程改訂作業部会担当

規程改訂作業部会担当 中川 堅司 専務理事

残りの規程類もわずかではあるが、各種規程については常に見直しが必要でもあること、
併せて定款の見直しも今後必要になるため、引き続き中川専務理事をお願いをした。
業務執行担当理事について決議を行い、推薦内容の通りで、全員一致にて可決承認された。

顧問選出について審議を行った。

定款第 35 条（顧問及び参与）

2 顧問及び参与は、学識経験者又は本会に功労のあった者のうちから、理事会の推薦によ
り、会長が委嘱する。と定められている。これに基づき、引き続き前顧問の高田一郎氏に
就任打診を考えたが、高田氏は病気療養中のため、今期は顧問はなしとして、先生が回復
されたのち、改めて顧問の就任を考える。

全員一致にて可決承認されたので、今期の顧問は不在とした。

第 52 回定例理事会（令和 2 年 8 月 28 日（金）14:00～15:22 於 JATET 会議室）

審議事項

第 1 号議案 JATET フォーラム 2020 開催方式およびセミナーテーマの件

審議の結果、開催方式の件は、まず観客を入れるか入れないかについて、無観客での開催が
全員一致で可決承認された後、LIVE 配信は行わず、制作したコンテンツをオンデマンド配信
する方法で行うことが全員一致で可決承認された。続いて、各部会のセミナーテーマについ
て全員一致で可決承認された。

第 2 号議案 JATET 部会参加申込、退部届承認の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 3 号議案 賛助会員 A ボーズ合同会社 退会の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 4 号議案 賛助会員 B 斎藤 義（さいとう ただし）氏 退会の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第5号議案 今岡 隆（いまおか たかし）氏 賛助会員B 入会の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。

第6号議案 Inter BEE 2020 協力名義使用許可の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。

第53回定例理事会（令和2年11月27日（金）14:00～15:26 於 JATET 会議室）

審議事項

第1号議案 正会員C 岡田 一雄氏 退会の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。

第2号議案 正会員C 岡田 一雄氏 照明部会 退部の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。

第3号議案 令和3年度総会開催及び総会の方法、日時場所の決定の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。

第4号議案 来年度の JATET 誌（89号・90号）の件（発行部数・予算・担当）
審議の結果、JATET 誌89号編集担当は機構部会、90号編集担当は建築部会が担当することに
全員一致で可決承認された。また、発行部数、予算についても全員一致で可決承認された。

第5号議案 ライティング・フェア 2021 協賛名義使用申請の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。

第6号議案 JATET 30周年記念品の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。

第7号議案 JATET 誌84号～最新号(87&88)のHP上への公開の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。

第54回定例理事会（令和3年2月26日（金）14:00～15:33 於 JATET 会議室）

審議事項

第1号議案 令和3年度事業計画の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。

第2号議案 令和3年度事業予算の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。

第3号議案 総会時の出席しない社員の書面による議決権行使の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。

第4号議案 令和3年度資金運用計画の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。

第5号議案 JATET 誌89号の件
審議の結果、指摘事項（制作時の苦労や反省点は内部留保すべき事項であるため、テーマから除外する）を訂正する事を前提とし、全員一致で可決承認された。

第6号議案 正会員C 角 和志氏 入会の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。

第7号議案 正会員C 角 和志氏 照明部会入部の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。

第8号議案 正会員A ウシオライティング株式会社 会員種変更の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第9号議案 正会員C 近江 哲朗 氏 退会の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第10号議案 賛助会員B 奥畑 康夫 氏 退会の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第11号議案 賛助会員特別 NPO 法人劇場創造ネットワーク 退会の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

3)委員会

(1)事業執行連絡委員会

第47回事業執行連絡委員会

(令和2年4月9日(木) 14:00~15:30 於 JATET 会議室)

令和元年度事業報告の件、令和元年度事業決算の件、令和2年度役員立候補者名簿の件、JATET フォーラム2020 テーマの件、通常総会の件、賛助会員A 神戸国際ステージサービス株式会社入会の件、AT ネットワーク近江氏の建築部会退部の件

第48回事業執行連絡委員会

(令和2年5月12日(火) 14:00~15:00 於 JATET 会議室)

審議事項 特になし

第49回事業執行連絡委員会

(令和2年6月10日(水) 14:00~15:15 於 JATET 会議室)

賛助会員B 株式会社環境デザイン研究所 斎藤 義氏 退会の件

第50回事業執行連絡委員会

(令和2年7月16日(木) 14:00~15:15 於 JATET 会議室)

賛助会員A ボーズ合同会社 退会の件、正会員A 東芝ライテック株式会社 秋田 貴洋氏 広報部会入部の件、正会員A 東芝ライテック株式会社 茅野 邦宏氏 照明部会 入部の件、賛助会員A 神戸国際ステージサービス株式会社 辻村 聡之氏 照明部会 入部の件、賛助会員A 神戸国際ステージサービス株式会社 太田 繁男氏 機構部会 入部の件、賛助会員A 神戸国際ステージサービス株式会社 川手 克文氏 音響部会 入部の件、賛助会員A 神戸国際ステージサービス株式会社 寺川 浩史氏 音響部会 入部の件、正会員A 三精テクノロジーズ株式会社 岡田 良之氏 広報部会 入部の件、正会員A 森平舞台機構株式会社 長原 邦彦氏 機構部会 退部の件、正会員A 三精テクノロジーズ株式会社 近藤 正親氏 広報部会 退部の件、正会員A 東芝ライテック株式会社 奥村 浩平氏 広報部会 退部の件、正会員A 東芝ライテック株式会社 中澤 浩一氏 照明部会 退部の件、正会員A 東芝ライテック株式会社 中島 修氏 照明部会 退部の件、正会員A 株式会社東京舞台照明 青野 時彦氏 照明部会 退部の件、賛助会員A ボーズ合同会社 井戸 覚道氏 音響部会 退部の件、賛助会員A ボーズ合同会社 岡本 大輔氏 音響部会 退部の件

第51回事業執行連絡委員会

(令和2年8月20日(木) 14:00~15:45 於 JATET 会議室)

Inter Bee 2020 の協力名義使用の件、賛助会員B 今岡 隆氏 入会の件、正会員A 三精テクノロジーズ株式会社 岡田 良之氏 広報部会 入部の件

第 52 回事業執行連絡委員会

(令和 2 年 9 月 15 日 (火) 14:00~15:30 於 JATET 会議室)

各部会の WEB 会議の使用アプリの使用状況の件、設立 30 周年記念品の件

第 53 回事業執行連絡委員会

(令和 2 年 10 月 14 日 (火) 14:00~15:15 於 JATET 会議室)

ライティング・フェア 2021 協賛名義使用申請の件、レジャー&アウトドアジャパン

2020 への後援名義の承認申請の件、正会員 C 岡田一雄氏 退会の件、正会員 C 岡田一雄氏 照明部会退部の件、設立 30 周年記念 記念品の件

第 54 回事業執行連絡委員会

(令和 2 年 11 月 12 日 (木) 14:00~15:00 於 JATET 会議室)

審議事項 特になし

第 55 回事業執行連絡委員会

(令和 2 年 12 月 16 日 (水) 14:00~15:10 於 JATET 会議室)

審議事項 特になし

第 56 回事業執行連絡委員会

(令和3年1月15日 (金) 14:00~15:00 於JATET会議室)

正会員 C 角和志氏 入会・照明部会入部の件、正会員 C 近江哲朗氏 退会の件、

第 57 回事業執行連絡委員会

(令和3年2月16日 (火) 14:00~15:10 於JATET会議室)

令和3年度 事業計画の件、令和3年度 事業予算の件、正会員A ウシオライティング株式会社会員種変更の件、賛助会員B 奥畑康夫氏 退会の件、賛助会員特別 NPO法人劇場創造ネットワーク退会の件、JATET誌89号特集テーマの件

第 58 回事業執行連絡委員会

(令和3年3月24日 (水) 14:00~15:10 於JATET会議室)

正会員C 木村博行氏 建築部会退部の件、第27回「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者の公募の件

2. JATET 部会報告

1) 教育研修部会

教育研修部会事業報告

活動概要

(1) 部会開催

イ. 第 58 回教育研修部会	令和 2 年 4 月 28 日	メールにてチャット形式で開催
ロ. 第 59 回教育研修部会	令和 2 年 5 月 26 日	メールにてチャット形式で開催
ハ. 第 60 回教育研修部会	令和 2 年 6 月 30 日	メールにてチャット形式で開催
ニ. 第 61 回教育研修部会	令和 2 年 7 月 15 日	リモート会議にて開催
ホ. 第 62 回教育研修部会	令和 2 年 8 月 26 日	メールにてチャット形式で開催
ヘ. 第 63 回教育研修部会	令和 2 年 9 月 29 日	メールにてチャット形式で開催
ト. 第 64 回教育研修部会	令和 2 年 10 月 30 日	メールにてチャット形式で開催
チ. 第 65 回教育研修部会	令和 2 年 11 月 25 日	メールにてチャット形式で開催
リ. 第 66 回教育研修部会	令和 2 年 12 月 24 日	メールにてチャット形式で開催

又. 第 67 回教育研修部会	令和 3 年 1 月 28 日	メールにてチャット形式で開催
ル. 第 68 回教育研修部会	令和 3 年 2 月 22 日	メールにてチャット形式で開催
ヲ. 第 69 回教育研修部会	令和 3 年 3 月 9 日	リモート会議にて開催

(2) その他

今年度はコロナの影響により施設見学会を開催することができなかった。
それに伴い JATET ジャーナルの発行もできなかった。

2) 建築部会

建築部会事業報告

活動概要

(1) 定例部会を計 10 回開催し、JATET フォーラム 2020/2021 のセミナーについて協議し、同セミナーのコンテンツ制作を行った。活動のテーマは当初「演劇、劇場の過去、現在、未来（渋谷の劇場をモデルとして）（仮）」としていたが、コロナ禍において運営上大きな影響を受けている劇場の協力を得ることを必要とするこのテーマでの研究・調査は不可能と判断し、フォーラムのテーマを、新型コロナにより話題になった劇場・ホールの空調設備を中心とするよう変更した。

(2) 部会開催

下記日程で計 10 回の部会を開催した。部会はコロナ禍であることもありすべてオンライン開催とした。

しかし、地方の部会員も多いこともありオンライン方式としたことにより、現地開催時と比較すると出席者は増加した。

イ. 令和 2 年 6 月 24 日	第 68 回機構部会開催	オンライン開催
ロ. 令和 2 年 7 月 15 日	第 69 回機構部会開催	オンライン開催
ハ. 令和 2 年 8 月 12 日	第 70 回機構部会開催	オンライン開催
ニ. 令和 2 年 9 月 11 日	第 71 回機構部会開催	オンライン開催
ホ. 令和 2 年 10 月 5 日	第 72 回機構部会開催	オンライン開催
ヘ. 令和 2 年 11 月 9 日	第 73 回機構部会開催	オンライン開催
ト. 令和 2 年 12 月 7 日	第 74 回機構部会開催	オンライン開催
チ. 令和 3 年 1 月 12 日	第 75 回機構部会開催	オンライン開催
リ. 令和 3 年 2 月 8 日	第 76 回機構部会開催	オンライン開催
ヌ. 令和 3 年 3 月 8 日	第 77 回機構部会開催	オンライン開催

3) 機構部会

機構部会事業報告

活動概要

令和 2 年度は、新型コロナウイルスの影響で 4, 5 月の部会を開催することができなかったが、6 月は JATET 会議室と WEB 会議の併用で、7 月以降は WEB のみの会議で 8 月と 3 月を除く計 8 回開催し、以下の活動を行った。

活動内容

(1) 第100回～第107回機構部会を JATET 会議室、WEB 会議で開催した。

イ. 令和2年6月17日	第100回機構部会開催	JATET 会議室・WEB 会議
ロ. 令和2年7月15日	第101回機構部会開催	WEB 会議
ハ. 令和2年9月16日	第102回機構部会開催	WEB 会議
ニ. 令和2年10月21日	第103回機構部会開催	WEB 会議
ホ. 令和2年11月18日	第104回機構部会開催	WEB 会議
ヘ. 令和2年12月15日	第105回機構部会開催	WEB 会議
ト. 令和3年1月20日	第106回機構部会開催	WEB 会議
チ. 令和3年2月17日	第107回機構部会開催	WEB 会議

(2) JATET フォーラム 2020/21 セミナーにおいて、機構部会のコンテンツを作成した。

(3) JATET-M-5040-1「床機構安全指針・同解説」の見直しを行った。

(4) 吊物装置における各駆動方式等の調査・研究

未来の駆動部と変遷についてそれぞれ研究会を発足させ、調査研究を行った。

変遷については、JATET フォーラム 2020/21 セミナーでコンテンツを制作した。

未来の駆動部については、コロナ禍で十分な議論の場を持てなかったことから、次年度へ継続とした。

4) 照明部会

照明部会事業報告

活動概要

令和2年度においては、新型コロナウイルスの影響で、4月の定例照明部会は開催出来なかったが、6月以降 JATET 会議室と WEB 会議で5回、定例照明部会を開催した。

活動内容

(1) 照明部会

下記の日程で照明部会を開催した。

イ. 令和2年6月25日	第60回照明部会開催	JATET 会議室・WEB 会議
ロ. 令和2年8月4日	第61回照明部会開催	JATET 会議室・WEB 会議
ハ. 令和2年10月6日	第62回照明部会開催	JATET 会議室・WEB 会議
ニ. 令和2年12月9日	第63回照明部会開催	JATET 会議室・WEB 会議
ホ. 令和3年2月8日	第64回照明部会開催	JATET 会議室・WEB 会議

照明部会においては、JATET フォーラム 2020/21 セミナーの内容の検討を行った。

JATET フォーラム 2020/21 がオンラインの有料配信になったために、当初のセミナーの内容を変更し、『最新の機能を備えた各社の照明卓を紹介するとともに、演出空間施設への納入事例を含めた今後の展望を探る』というタイトルで、パワーポイントによる映像を作成することとして、3月までに作成し、実行委員会に提出した。

また、セミナーの資料を作成して、セミナー受講者に配布することとした。

その他の事業計画は、新型コロナウイルスの影響で、次年度に持ち越しになった。

(1) 研究会

「演出空間用 LED 照明器具表示規格研究会」は、やはり新型コロナウイルスの影響で対面会議が

出来ないために、令和2年度は休会とした。

5) 音響部会

音響部会事業報告

活動概要

今年度はコロナ禍の中、感染防止のため対面での部会を行わず Web 会議形式で定例音響部会を6回、臨時音響部会を1回開催し、下記の活動を実施した。

昨年度末から新型コロナウイルス感染症により劇場の運営が自粛となる中、音響部会として舞台での感染を防ぐための注意事項を取りまとめた安全手帳を JATET ホームページに掲載した。また、JATET フォーラム 2020/21 の配信コンテンツ「舞台連絡設備アンケート結果と考察」の制作を行った。

活動内容

(1) 調査研究

イ. 電源電圧の違いによるパワーアンプ出力信号への影響についての調査研究

コロナ禍の影響で進捗なし。

ロ. 音響電源 200V 使用時に安全に運用できるコネクタについての調査研究 コロナ禍の影響で進捗なし。

ハ. 劇場等演出空間用音響設備の劣化診断・適正更新時期判定に関する調査研究 コロナ禍の影響で進捗なし。

ニ. 舞台連絡設備指針改定に向けた調査研究

2019年～2020年にかけて全国の劇場・ホール向けに実施した舞台連絡設備アンケートを集計分析し「舞台連絡設備の設置・運用状況に関するアンケート調査報告書」として JATET ホームページに掲載した。

(2) 部会開催

イ.	2020年5月15日	15:00～17:30	第1回音響部会開催	Web 会議
ロ.	2020年6月19日	15:00～17:30	第2回音響部会開催	Web 会議
ハ.	2020年8月21日	15:00～17:30	第3回音響部会開催	Web 会議
ニ.	2020年10月23日	15:00～16:40	第4回音響部会開催	Web 会議
ホ.	2020年11月13日	14:00～15:55	臨時音響部会開催	Web 会議
ヘ.	2020年12月11日	15:00～16:15	第5回音響部会開催	Web 会議
ト.	2021年2月19日	15:00～16:15	第6回音響部会開催	Web 会議

6) 映像部会

映像部会事業報告

<技術状況>

コロナ (COVID-19) の感染拡大に伴い政府から出されたイベント自粛要請により、大規模公演から中小劇場へと、演劇や音楽イベント等において中止の波が押し寄せ、劇場・ホールは厳しい状況に置かれている。ニューノーマルと呼ばれる社会状況の変化は、元に戻ることは無いと言われている。その中で、劇場・ホールが今できることを探りながら、未来に向けた取り組みも進め

られている。映像とネットワーク技術の活用による、リモートプロダクションや動画配信などの技術により、エンターテインメントの世界におけるデジタル・トランスフォーメーション（DX）も急速に進んでいる。

舞台総合演出においても、リアルタイムコンピューターとネットワーク技術により、照明や音響効果、大型映像を制御するサーバーシステムなどの開発が進められている。

<活動報告>

JATET フォーラム 2020/21 に向けて、映像部会は当初「最新ネットワーク技術の活用事例と今後の展望」をテーマとしてきたが、数回に亘る部会の議論を経て、30周年記念大会に向けて「劇場・舞台映像の今後」をテーマとする事とした。コロナ禍の状況を受けて、現状では劇場での実演と、劇場からの情報発信へのニーズが共存する状況になって来ており、それらに向けた映像設備やネットワークシステムを考えて行くことが重要なテーマとなってきた。既に、劇場からの情報発信に向けて、ネットワークへの接続を実現するための、インフラ整備に向け劇場側でも検討が進められている。

劇場は、基本的には観客が居る舞台上でのパフォーマンスとのインタラクションが創り出す空間であり、ネットワークによる発信だけではなく、観客が目の前に居ても居なくても、双方向のインタラクションを創り出すことが、劇場の存在を位置付けることになる。

永年に亘り劇場の中で積み重ねられてきた映像システムの変遷を知ると共に、これからの劇場の役割を考える上で必要となる映像システムやネットワークについて、将来を展望する議論を提起することを目指して、次のテーマによるセミナー用コンテンツを制作する事とした。

① NHK ホールで培われてきた音響映像設備の技術革新への取り組みの変遷と、蓄積された知見を基盤とした劇場技術の将来を考える。

② スマートシティ構想における市民社会における劇場の新しい存在意義を、デジタルネットワーク技術の進化を見据えて将来の形を考える。

映像部会では、オンライン会議システムを活用して、積極的な議論の場を設けて活動を進めている。

2020年度は、4月から2021年3月の年度内に、次に示す6回の部会/研究会を開催した。

イ. 第75回	2020年5月1日	15時～17時	zoom オンライン
ロ. 第76回	2020年6月30日	15時～17時	zoom オンライン
ハ. 第77回	2020年8月6日	15時～17時	zoom オンライン
ニ. 第77回	2020年10月9日	15時～17時	zoom オンライン
ホ. 第78回	2020年12月8日	15時～17時	zoom オンライン
ヘ. 第79回	2021年3月22日	15時～17時	zoom オンライン

7) 広報部会

広報部会事業報告

活動概要

部会を隔月1回開催し、以下の活動を行った。

活動内容

部会は、新型コロナウイルスの蔓延により、年度初めの活動を阻まれたが、WEB会議による部会開催を行うことで、例年になく高い部会員出席率と、関西地区にいる部会員の参加を得ることができた。

活動のテーマは、パンデミックにより活動を抑制された、本法人の拠って立つ基盤である、舞台産業の状況を正確かつタイムリーに把握することに注力された。その中でJATETそのものの活動を維持するためもしくは、舞台産業の維持に向けて何ができるかに、大半の議論が費やされた。

(1) 前年度に予定していた、リーフレットの改訂は原稿の作成に至る所までが実現したが、まだ完了していない。

(2) リーフレットの英文化については、時期的に今は適切ではないと感じたが、先進国である英国劇場技術協会（ABTT）の広報活動を部会において研究する等、一定の成果は得た。しかし具体的な翻訳作業は実現できなかった。

(3) 例年であるとJATET誌の発行があるので、編集作業に対する協力があるのだが、今年はJATETフォーラムの開催年にあたり、しかもリアルで会場に参加者のいる開催が、リモート配信に切り替えられた。このことを鑑み主に部会長が、企画に積極的に協力することでその代替活動とした。基調講演における企画作成等を行った。

(4) 例年ならば、見学会が行われ、広報部会としてはアンケート等の協力を行うのだが、今年度は結果的に見学会は全て延期または中止されたので、本部会としての協力もなかった。ただ配信となったJATETフォーラムについては、どのように参加者の意向をくみ取るのかは考える必要があるとして、検討を継続している。

3. JATET フォーラム 2020/21 セミナー

令和2年度（2020年度）はJATET創立30周年の記念すべき年度となり、JATETの30年に亘る活動を踏まえ、2020年12月16日（仕込み）、17日、18日（本番）に渋谷区文化総合センター大和田伝承ホールでJATETフォーラム2020/21としてセミナーを開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響のため、劇場でのセミナーを断念し、セミナープログラムを番組コンテンツとして制作し、インターネット配信によるセミナーを開催することとした。令和2年度中にはコンテンツの制作が完了せず、実際の配信事業は令和3年度に実施することとなる。

4. JATET 誌

JATET 誌は平成28年度よりフルカラーで発行している。

JATET 誌 87&88号は合併号として、JATET 創立30周年を記念し、オールカラーで2,300部を発行した。約1,360部を全国の主要公共ホール・公共劇場に、約100部を関係官庁・関連団体に、約1,000部をJATET 会員及び広告主に無料配布した。

5. JATET ジャーナル

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、施設見学会を開催することが叶わず、劇場、施設を JATET ジャーナルで紹介することが出来なかったが、次年度は施設見学会開催に関わらず、紹介していきたい。

6. JATET ニュースについて

令和 2 年 4 月 7 日 (火) に JATET ニュース第 217 号を発行し、その後令和 2 年 12 月 7 日 (火) に JATET ニュース第 221 号を発行するまで、計 5 回発行した。

読者数は、令和 2 年末で 2,200 人に及ぶ。

7. JATET リーフレットについて

リーフレットの改訂については原稿の修正更新までは終了しており、次年度完成へと進めていく。

8. 舞台設備に使用する持込用仮設電源に関する調査と提言

舞台持込設備用三相 3 線式電源を含めた仮設電源に関して、仮設の際に持込機器用電源盤を安全に取り扱うための提言を示すことを検討したが、演出空間用電気設備については「劇場等演出空間電気設備指針 2014」、持込用仮設電源については「演出空間仮設電気設備指針」で、その運用の手引きが示されており、指針に基づいて持込用仮設電源を運用するのが基本であることから調査は一旦停止し、また演出空間仮設電気設備指針」が発行から 10 年以上が経過していることから、今後の改訂検討の際に改めて取り上げることとする。

以上

付属明細書は無し